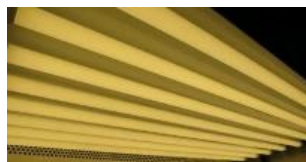


# 紫外線LEDによる野菜苗へのストレス耐性付与

## 技術の概要

①紫外線(UV)付加蛍光灯(UV-FL)を加えたハイブリットLED照射装置を用いることで、トマト育苗中の葉こぶ症を抑制できます。



電球色LED  
(UVなし)



電球色LEDにUV-FLを加えた  
ハイブリット照射装置

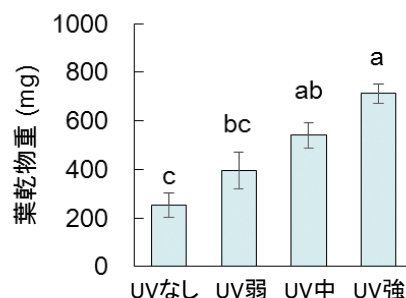


UV照射試験の様子  
(トマト苗)



なし UV弱 UV中 UV強

播種後16日目のトマト苗。UVなしでは葉こぶ症により子葉が脱落し本葉が萎縮(感受性品種の場合)。ハイブリット装置でUVを付加することで健全な苗が生産可能。

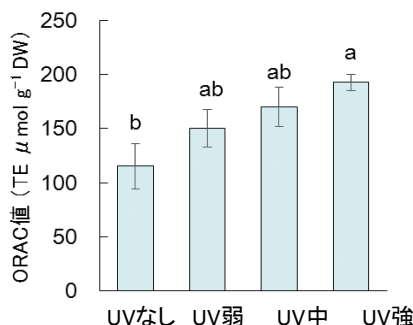


UV照射によりトマト苗の乾物重が回復(感受性品種)。

②ハイブリットLED照射装置を用いることで、二次育苗時の環境ストレス(高光強度、高・低気温、乾燥、UVなど)に強いトマト苗を生産できます。

## 期待される効果

- ①葉こぶ症感受性品種でも、健全なトマト苗を生産可能。
- ②環境ストレスを高めることで、従来法に比べて二次育苗時の成長を20%以上促進。



環境ストレス耐性を高めると予想される抗酸化能(ORAC値)は、UV照射区で高い。

苗産業ふくしま復興コンソーシアム

【お問い合わせ先】福島県農業総合センター 作物園芸部 野菜科

TEL: 024-958-1724